

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	文書理解 I	(TCH102)	
講義名 (コード)	TCH_文書理解 I_D	(TCH102D)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	濱 裕樹	時間数	30
成績評価教員	濱 裕樹	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が立場の異なる他者と適切に対話するために、その場に応じた表現で自分の意見が伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N3レベルの文法のしっかりした定着・自在に運用できる力を養いながら、N2レベルの文法表現を学び、フォーマルな言い方や書き言葉、状況に応じた日本語の使い分けができるようになる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	進度は適宜変更する可能性があります。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	この授業の目的・ゴールを確認する。	オリエンテーション
2	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターン N2 基礎編 1～2 必ずできるJLPT読解N2 Level1 ①～③
3	話のポイントや概要が理解できるようになる。	必修パターンN2聴解 基礎編 3～4 必ずできるJLPT読解N2 Level1 ④～⑤
4	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターン N2聴解 基礎編 5～6 必ずできるJLPT読解N2 Level2 1-2日目
5	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 基礎編 7 必ずできるJLPT読解N2 Level2 3日目
6	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターンN2聴解 課題理解 1～4 必ずできるJLPT読解N2 Level2 4日目
7	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説 (JLPT模試 聴解)
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説 (JLPT模試 聴解)
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説 (JLPT模試 聴解)
10	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 課題理解5～8 必ずできるJLPT読解N2 Level2 5日目
11	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターンN2聴解 課題理解9～11 必ずできるJLPT読解N2 Level2 6日目
12	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 課題理解12～13 必ずできるJLPT読解N2 Level2 7日目
13	質問に対する的確な答えが言える。	必修パターンN2聴解 ポイント理解14～17 必ずできるJLPT読解N2 Level2 8日目
14		前期期末試験
15		前期期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN2 聴解 必ずできるJLPT読解N2
参考文献・資料等	
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。